

成果指標				
成果指標	活動実績の達成率(実績/計画×100)			
指標設定の考え方	特別支援教育のより効果的な執行に資するため調整された各事業計画と実績(進捗)の比較を、各々達成指標として累乗する。			
区分年度	26年度	27年度	28年度	
目標	1	0	0	0
実績	0	0	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	本事業の実施により、教育的な支援が必要な児童生徒に対し、学校生活での支援を図ることができている。引き続き、本事業は実施していく必要がある。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5	B
		市民ニーズへの対応	5	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	5	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	近年、特別な教育的支援を必要とする児童生徒が増加傾向にあるため、人員の確保が困難になってきている。今後は、人材確保の方法を検討する必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題